

再エネ電力を100%使用する川崎信用金庫店舗の稼働開始 ～川崎市内の金融機関で初めて官民連携による再エネ電力の地産地消が実現～

この度、川崎市高津区の脱炭素先行地域に参画する川崎信用金庫（本店：神奈川県川崎市）の高津支店、梶ヶ谷支店において、脱炭素化の取組が進められ、2025年4月より川崎未来エナジー株式会社（本社：神奈川県川崎市）（以下、川崎未来エナジー）からの電力受給を開始し、金融機関として市内で初の地産地消再エネ電力を100%使用する店舗として稼働します。

1. 経緯

川崎市は2050年の脱炭素社会実現に向けて、2022年に環境省が定める脱炭素先行地域に選定されています。脱炭素先行地域の高津区において、集中的に脱炭素に取り組むため、川崎信用金庫も連携して高津区内の店舗の脱炭素化に取り組んでいます。

川崎未来エナジーは2023年に再エネ電力の地産地消の推進を目的の一つとして設立し、川崎信用金庫も金融機関パートナーとして運営に携わっています。

<川崎市脱炭素先行地域イメージ図>



2. 本取組の特長

川崎未来エナジーが供給する電力は廃棄物処理施設などから生み出された再生可能エネルギー由来の電力となっています。高津支店、梶ヶ谷支店では既に設置している屋根置き太陽光発電設備に加え、川崎未来エナジーから供給される市民の家庭から排出された普通ごみ由来の再エネ電力を活用することで、川崎市内で発電した地産地消再エネ100%の店舗となります。

<スキーム図>



3. 川崎信用金庫 高津支店、梶ヶ谷支店の脱炭素の取組

これまでに、川崎市地域脱炭素移行・再エネ推進補助金とクリーンエネルギー自動車導入促進補助金を活用して以下の設備を導入しています。

<高津支店（〒213-0001 高津区溝口 4-18-34）>

屋根置き太陽光発電設備、オフグリッド型のソーラーカーポート、EV 自動車



蓄電池、充電器



<梶ヶ谷支店（〒213-0013 高津区末長 1-23-30）>

屋根置き太陽光発電設備



4. 川崎信用金庫の取組背景

川崎信用金庫が、脱炭素の取組を実施するきっかけとなったのは、2020年に川崎市のかわさきカーボンゼロチャレンジ2050に賛同したことが始まりでした。その後、脱炭素社会実現への取組として金融商品をラインナップした「カーボンゼロチャレンジシリーズ」の開発を行いました。

また、脱炭素の取組を具体的に進めていくために「かわしん環境経営方針」を制定し、環境負荷低減に向けたロードマップを策定し、以下の目標を掲げています。

- ・2030年度までに二酸化炭素排出量を2013年度比で90%以上削減
- ・2030年度までに使用電力の100%を再エネ由来の電力に切替え
- ・2050年度までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ

こうした目標を実行するために、2024年7月に環境省が制定したエコアクション21の認証を取得し、2050年の脱炭素社会実現に向けて取り組んでいます。

<川崎信用金庫はエコアクション21に認証されています>



【お問合せ先】

<報道関係の方>

脱炭素先行地域に関すること

川崎市環境局脱炭素戦略推進室 市川 TEL:044-200-1222

再エネ電力の供給に関すること

川崎未来エナジー株式会社 TEL:044-201-7395

本取り組み全般に関すること

川崎信用金庫 総合企画部 九島 TEL 044-220-2262